

## トピックス

### 最新 CT 装置導入



東芝製 Area Detector CT Aquilion One

平成 22 年 3 月に最新の東芝製 320 列エリアデテクター CT を導入いたしました。

従来のマルチスライス CT は、臓器を 2mm ~ 40mm 幅のらせん状に撮影していましたがこの CT 装置は、160mm 幅の面検出器を有し 1 回転（最短 0.35 秒）で、頭部や心臓などの 1 臓器を撮影するというこれまでの CT 装置では考えられなかった画期的な CT 装置として開発された装置です。

全国で約 40 台程度、関西でも数台のみ稼働している東芝製 CT 装置の最上位機種です。

この CT 装置の優れた特徴として、

- 1) 撮影時間や息止め時間の短縮。
- 2) 心臓検査の成功率向上。
- 2) 3 次元形態に加え、動態・機能診断が可能。
- 3) エックス線被曝および造影剤量の低減が可能。
- 4) きわめて短時間で撮影できるため、乳幼児の検査にも非常に有効です。

以上のような特徴を利用し、患者様にとって有用で優しい検査が可能となる装置です。

この装置を使用し、今後も診療レベルの向上と検査の快適性に努めてまいります。

## 最新核医学検査装置導入



平成 22 年 3 月に最新の東芝製核医学診断装置( デジタルガンマカメラ SymbiaE )を導入いたしました。

核医学検査( RI 検査 )は人工的に作られた微量の放射性同位元素( Radio Isotope )で目印をつけた薬( 放射性医薬品 )を用いて行う検査で、X線検査、CT検査、MRI検査等と同様、撮影した画像から病気の有無や治療の効果判定等に役立つ検査法です。

最新の画像処理システムにより、画質の向上に加えさまざまな処理が可能となり、検査精度向上はもとより新しい検査にも対応可能となりました。